

オンラインシラバス 高校3年生 本科

国理現代文Ⅱ	-----	1
古文演習	-----	2
漢文演習	-----	3
私文・現代文演習	-----	4
私文・入試古典	-----	5
国理・古典Ⅱ	-----	6
地理探究	-----	7
日本史探究	-----	8
日本史演習	-----	9
世界史探究	-----	10
世界史演習	-----	11
政治経済	-----	12
倫理	-----	13
数学Ⅲ	-----	14
数学ⅠAⅡBC	-----	15
文系・数学C	-----	16
文系・数学演習	-----	17
理系・数学演習	-----	18
物理	-----	19
化学	-----	20
生物	-----	21
理科基礎演習	-----	22
英語コミュニケーションⅢ	-----	23
論理・表現Ⅲ	-----	24
英語演習	-----	25

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	現代文Ⅱ	本科	2	沖野・河口

到達目標

大学入試共通テストで得点を取れる読解力、思考力を身につける。(選抜コースは個別試験対策を中心に行う)

授業の進め方・学習方法

問題演習を行いながら、読解の基礎を確認し、構造的に文章を読み解く力を養う。

授業スケジュール

1学期	問題演習 (共通テスト対策問題、共通テスト過去問)
1学期中間試験	
1学期	問題演習 (共通テスト対策問題、共通テスト過去問)
1学期期末試験	
2学期	問題演習 (共通テスト対策問題、共通テスト過去問)
2学期中間試験	
2学期	問題演習 (共通テスト対策問題、共通テスト過去問)
2学期期末試験	
3学期	個別対策
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	授業内試験を80%の評価対象とし、残り20%を授業内小テストや課題、授業内の取り組みなどで評価する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
『入試漢字コア2800』	桐原書店	
『現代文キーワード読解』	Z会	

担当者からのアドバイス

問題量をこなすことで速読力も身につけ、設問の意図をすばやく読み取り、適切な解答を見つけることができる力を育成しましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	古文演習	本科	3	岡田

到達目標

共通テスト対策の実践的な問題や私立大学の入試問題を演習し、合格ラインを出すことで、安定して得点できるようになることを目標とする。

授業の進め方・学習方法

共通テスト対策の実践的な問題や私立大学の入試問題を教材として、解法テクニック等の解説を通し、安定して得点できる分野を増やし、各々の志望大学への意識付けを行う。

授業スケジュール

1学期	高校二年生までの既習事項の確認をはじめ、基本事項を問う入試問題を選び、演習することで、各自が自分の不得意分野に気づき、確実に得点できるようにする。
1学期中間試験	
1学期	共通テストに近い問題、古文単語、古文常識等を問う。
1学期期末試験	
2学期	1学期の学習内容を踏まえ、より実践的な問題に挑戦する。古文知識、古文常識、解法のコツ等について小テストを行う。
2学期中間試験	
2学期	私大の入試問題、共通テストに類似した問題、知識問題。
2学期期末試験	
3学期	記述答案の添削等の個別対応。
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	平常点は朝テスト・出席・提出物。定期試験は範囲内で扱った文章が中心。授業内配布プリントはファイルで整理すること。
レポート		
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
『体系古典文法』	数研出版	
自作プリント、大学入試問題等		

担当者からのアドバイス

ガイダンスで話したように、各自、スケジュール管理をして確実に解ける問題を増やすこと。復習を丁寧に行い、できる部分を一つでも多く積み上げていくこと。古文単語、古文常識についても、他教科との関連も意識して知識の獲得を目指すこと。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	漢文演習	本科	2	遠藤

到達目標
①文章のジャンルに応じた的確な解釈ができる。 ②共通テストにおける選択問題や難関私大・国公立個別試験の論述問題に的確に解答できる。 ③漢文の句形や中国思想について、理解を深め、読解に活用することができる。

授業の進め方・学習方法
演習形式の授業となります。演習問題を解いていくなかで、文書自体の現代語訳が滞りなく作れるよう、読解するうえでの練習を重ねていきます。そして次に設問の解法が身につけられるよう実践を通じて練習を重ねていきます。

授業スケジュール	
1学期	テキストを用いた問題演習 ①秦から漢代初期にかけての歴史的事項 ②再読文字、使役形、受身形などの確認、漢文の構造理解 1学期中間試験
1学期	テキストを用いた問題演習 ①先秦思想（儒家と法家） ②反語形、詠嘆形、抑揚形など句形全般 1学期期末試験
2学期	テキストを用いた問題演習 ①先秦思想（儒家と道家）・漢代思想・宋学 ②抽象的文章の読解 2学期中間試験
2学期	難関私大、国公立個別試験過去問演習 2学期期末試験
3学期	個別対応 学年末試験は実施しない

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を80%の評価対象とし、残りの20%を授業内・授業外小テストや課題、授業内の取り組みなどで評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
重要問題演2027共通テスト 古典	Benesse	
過去問プリント		

参考書			
書名	著者	出版社	備考
漢文必携		桐原書店	

担当者からのアドバイス
十分な演習量をこなし、様々な分野の問題を解けるようにしましょう。演習で一度読んだ文章は、すべて現代語訳ができるようにしっかりと復習してください。 テキストの学習を終えた後は、国立二次試験の対策に移行します。その際、二次対策に向けて新たなテキストを使用することもあります。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	現代文演習	本科	3	沖野・河口

到達目標
国公立大学・私立大学・共通テスト対策と入試問題を実践的に演習し、解説することで設問別の解き方や考え方を身に付け、分かることからできるようになることを目的とする。

授業の進め方・学習方法
国公立の入試問題、私立の入試問題、共通テスト問題を理解度を確認しながら織り交せて、今年度だけの教材を作成し、実践演習・解説を行う。

授業スケジュール	
1学期	国立難関大入試問題2題・私立大学入試問題1題
1学期中間試験	
1学期	国立難関大入試問題1題・私立大学入試問題1題・共通テスト対策プリント2題
1学期期末試験	
2学期	一学期の状況を確認し、また志望校に合わせた対策プリント
2学期中間試験	
2学期	一学期の状況を確認し、また志望校に合わせた対策プリント・11月下旬から共通テストの総仕上げ
2学期期末試験	
3学期	個別指導
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	平常点は朝テスト・出席・提出物。定期試験は範囲内で扱った文章が中心。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
『入試漢字コア2800』	桐原書店	
『現代文キーワード読解』	Z会	

担当者からのアドバイス
全ての受験校を網羅できるわけではないので、個別に対策をどうすべきか、何をすべきかは必ず聞きにくること

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	入試古典	本科	3	吉田

到達目標
中堅私大から難関私大・国立2次の古典に対応できる読解力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法
入試問題を中心に演習・解説を繰り返し、入試攻略ができるよう仕上げていく。

授業スケジュール	
1学期	オリジナルプリントによる授業
1学期中間試験	
1学期	オリジナルプリントによる授業
1学期期末試験	
2学期	オリジナルプリントによる授業
2学期中間試験	
2学期	オリジナルプリントによる授業
2学期期末試験	
3学期	オリジナルプリントによる授業
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を80%の評価対象とし、残り20%を小テストや授業内の取り組みで評価する。
レポート		
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
体系古典文法	数研出版	
FORMULA	東進ブックス	
漢文必携	桐原書店	

担当者からのアドバイス
これまで身に付けてきた知識をアウトプットすることで知識と知識を繋ぎあわせ、古典世界の解像度を上げていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	国理古典Ⅱ	本科	2	岡田

到達目標
古文・漢文について、共通テスト対策問題や私立大学の入試問題等を演習し、合格ラインを出すことで、安定して得点できるようになることを目標とする。

授業の進め方・学習方法
共通テスト対策の実践的な問題や私立大学の入試問題を教材として、理解度を確認しながら、解法のコツや大学の出題傾向をふまえたプラスアルファの知識の定着を図り、各々の志望大学への意識付けを行う。

授業スケジュール	
1学期	高校二年生までの既習事項の確認をはじめ、基本事項を問う入試問題を選び、演習することで、各自が自分の不得意分野に気づき、確実に得点できるようにする。
1学期中間試験	
1学期	共通テストに近い問題、古文単語、古文常識等を扱う。漢文の句形、重要語についても小テスト等で確認していく。
1学期期末試験	
2学期	難易度をあげた入試問題演習を通じ、得点できる部分を確実に増やす。
2学期中間試験	
2学期	各自の志望先に応じた入試問題演習を通じ、得点できる部分を確実に増やす。
2学期期末試験	
3学期	国公立大学の過去問添削等、個別対応。
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	平常点は朝テスト・出席・提出物。定期試験は範囲内で扱った文章が中心。授業内配布プリントはファイルで整理すること。
レポート		
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
『体系古典文法』	数研出版	
自作プリント、大学入試問題等		

担当者からのアドバイス
復習を丁寧に行い、できる部分を一つでも多く積み上げていくこと。古文単語、古文常識についても、他教科との関連も意識して知識の獲得を目指すこと。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	地理探究	本科	3	土肥

到達目標

地球や地球上の地域についてのイメージをつかんだうえで、地理的思考力を構築する。

授業の進め方・学習方法

プリントや問題集を用いて授業を行う。1学期に系統地理を、2学期には地誌を扱う。

授業スケジュール

1学期	農林水産業 工業 村落・都市	
1学期中間試験		
1学期	東アジア地誌 東南アジア地誌	
1学期期末試験		
2学期	南アジア地誌 アフリカ地誌	西アジア中央アジア地誌 ヨーロッパ地誌
2学期中間試験		
2学期	ロシア周辺地誌 ラテンアメリカ地誌	アングロアメリカ地誌 オセアニア地誌
2学期期末試験		
3学期		
学年末試験は実施しない		

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期テストを中心に、授業内実施の小テスト、レポート、授業への取り組み状況を平常点として加味して評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
新詳地理探究	帝国書院	
新詳高等地図	帝国書院	
新詳地理資料 COMPLETE 2025	帝国書院	
2027共通テスト直前演習 地理総合, 地理探究	進研学参	9月配布予定

担当者からのアドバイス

地理は「今」を読み解く学問です。今、地球で起きているさまざまな現象には必ず理由があるはずです。「なぜ」そうなったのか。空間を学ぶことで世界で起きている事象のメカニズムを「理解」し、それを「説明」できるようになりましょう。世界のあらゆる地域で日々引き起こされている現象に興味をもち、地球の未来を創りだしましょう。身についた地理の教養は、自らの知識を深めるにとどまらず、これからの人生を豊かにするはずです。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	日本史探究	本科	6	表

到達目標
1. 近世後期から現代にいたるまでの流れをつかみ、政治・外交・経済・文化の重要知識の習得をはかる。 2. 共通テストレベルの基礎学力の定着と、難関国公立・私大の入試に対応できる応用力・記述力の養成をはかる。

授業の進め方・学習方法
1. 教科書を大切に、基礎基本の理解力の育成と同時に入試頻出テーマを確認しながら、実践的な授業を展開していきます。 2. 重要事項の確認テストを実施します。

授業スケジュール	
1学期	第III部 近世 第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 第IV部 近代・現代 第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足 1学期中間試験
1学期	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立 第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 1学期期末試験
2学期	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化 第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本 2学期中間試験
2学期	共通テスト・国公立二次試験対策 ※「歴史総合」の復習を含む 2学期期末試験
3学期	学年末試験は実施しない

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の得点を基準として、小テストや課題の提出状況・提出課題の取り組み状況を平常点として加算します。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
詳説日本史	山川出版社	
詳説日本史図録	山川出版社	
2027共通テスト直前演習 地理総合, 地理探究	進研学参	9月配布予定

担当者からのアドバイス
共通テストの出題方式を中心に、単なる暗記ではなく総合的な理解が求められています。時代の枠組みを把握しながら事象の因果関係に目を向け、思考力系の問題や論述にも対応できるような学習を心がけましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	日本史演習	本科	4	岸野

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> 各種教材を使用して問題演習を行い、入試における実践力の定着を目指す。 大学入学共通テストの「日本史」において、8割以上の以上得点する学力をつける。

授業の進め方・学習方法
<ul style="list-style-type: none"> 事前に『実力をつける日本史100題』を解き、解説を読み込む。 その後、授業内では実施した範囲の内容を中心とした入試問題や実践問題に取り組み、解説授業を行う。 問題の解説だけでなく、周辺知識の確認や時代別の対比なども行う。 取り扱う入試問題は、生徒の目指す志望校のレベル水準に合わせたものを取り扱う。

授業スケジュール	
1学期	<ul style="list-style-type: none"> 高校2年次に学習した範囲（原始・古代・中世・近世）の内容の問題演習を行う。 基本事項だけでなく、周辺知識の確認や時代別の対比なども行う。 ※中間試験は実施しないが、中間試験前に授業内テストを行う。
1学期中間試験は実施しない	
1学期	<ul style="list-style-type: none"> 高校2年次に日本史探究の授業で学習した範囲（原始～近世）の内容の問題演習を行う。 基本事項だけでなく、周辺知識の確認や、時代別の対比なども行う。 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内テストを行う。
1学期期末試験は実施しない	
2学期	<ul style="list-style-type: none"> 高校3年夏休みまでに学習した範囲（原始～近現代）の内容の問題演習を行う。 基本事項だけでなく、周辺知識の確認や時代別の対比なども行う。 ※中間試験は実施しないが、中間テスト前に授業内試験を行う。
2学期中間試験は実施しない	
2学期	<ul style="list-style-type: none"> 高校3年2学期中間までに学習した範囲（原始～近現代）の内容の問題演習を行う。 基本事項だけでなく、周辺知識の確認や時代別の対比なども行う。 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内テストを行う。
2学期期末試験は実施しない	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	授業内テスト、小テスト、授業への取り組み方など、総合的に判断して評価を行う。 (定期試験の代わりとして、各学期末に授業内テストを実施する)
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
実力をつける日本史100題	Z会	

担当者からのアドバイス
<p>知識をどれだけ多く知っていても、入試本番でそれを目の前の問題に対応できるように引き出せる力がなければ何の意味もありません。同時に一度頭に入れた知識をずっと保持し続けることも難しいものです。みなさんはこの2つの難題に取り組まなければなりません。そのため常に知識のメンテナンスを欠かさないでください。何度も知識の確認を繰り返すこと。最重要事項を優先し、繰り返すたびに徐々に細かいところに目を広げていくことを各自で進めてください。そしてこの授業では実際の入試問題を使って演習し、その知識をどう引き出して正解を導き出すのか、その感覚を身につけることを目標とします。そして難関大学で出題される事項の確認もおこなっていきます。</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	世界史探究	本科	6	沖

到達目標
 高校3学年時に大学入学共通テストレベルの実力をつけるのはもちろん、国立受験(論述問題)にも対応できる知識・実力へ仕上げていく。総合的に大学受験で通用する受験世界史の「知識」を身につける。

授業の進め方・学習方法
 第10章～地域ごとおよびグローバルな歴史の学習を通じて、タテヨコの歴史を文化・地理との関係させて理解する。原則として講義の形式をとる。
 【講義】を受けたのち、自ら適切な【演習】を繰り返すことで知識は定着する。決して受講したままにしない心がけが必要となる。授業時に適宜実施予

授業スケジュール	
1学期	"近世～近代のはじまり 1 ルネサンスと大航海時代 2 宗教改革と反宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 16世紀から18世紀の国際関係史 5 ユーラシア諸帝国の繁栄 6 産業革命と大西洋革命"
1学期中間試験	
1学期	近代国家の動揺 〈第12章 欧米における近代国民国家の発展〉 1 ウィーン体制とその動揺 2 ヨーロッパの再編 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米の文化 〈第13章 アジア諸地域の動揺〉 1 オスマン帝国支配の動揺とアラブの目覚め 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動 〈第14章 帝国主義とアジアの民族運動〉 1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立 3 アジア諸国の改革と民族運動
1学期期末試験	
2学期	〈第15章 二つの世界大戦〉 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ民族主義の進展 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5 第二次世界大戦 〈第16章 冷戦と第三世界の自立〉 1 東西対立の始まりとアジア諸地域の自立 2 冷戦構造と日本・ヨーロッパの復興 3 第三世界の自立と危機 4 米・ソ両大国の動揺と国際経済の危機
2学期中間試験	
2学期	〈第17章 現代の世界〉 1 冷戦の解消と世界の多極化 2 社会主義世界の解体と変容 3 第三世界の多元化と地域紛争 分野別問題演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を中心に、授業への取り組みや宿題の提出状況、小テスト・課題テストの結果などを加味する
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
世界史探究	東京書籍	
最新世界史図説タペストリー	帝国書院	
実力をつける世界史100題	Z会	
世界史重要語句CheckList2024	啓隆社	

担当者からのアドバイス
 授業を集中して聞いて下さい。授業時間でどれだけ地力をつけられるかが重要な分かれ道です。高3の学習分野は大学入試の出題頻度も高いので、細かな知識を詰めていくこととなりますが、まずは複雑な近現代史の大枠(動き、流れ)を捉えることが最優先でしょう。基礎固めをしたい方は、朝テストも活用してください。最後に世界史は「一般教養」として習得するのだと考えてください。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	世界史探究	本科	6	沖

到達目標

昨年度の学習内容の定着度の確認と並行して、模擬試験や入試問題に対応できる実力の養成をはかる。
生徒個々の進路目標に即した問題演習を行い、偏差値UPをめざす。

授業の進め方・学習方法

歴史総合を軸に、基礎的な問題演習や発展的な問題、大学入試問題の演習を行います。毎回様々な大学の入試問題を解いてゆきます。
自分の目標に照らして毎回の演習で定着していない項目を、ノートや教科書に記録、整理して蓄積すること。

授業スケジュール

1学期	前近代の世界 1. ガイダンス 2. 各地域の諸文明 3. 歴史の扉 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※中間試験は実施しないが、中間試験前に授業内試験を実施する
1学期中間試験は実施しない	
1学期	近代化の進展 1. 国民国家の形成 2. 欧米列強による植民地化と日本の開国 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内試験を実施する
1学期期末試験は実施しない	
2学期	近代化の進展 3. 身近な歴史を調べよう 日本の近代化 1. 明治政府の誕生 2. 東アジアの近代戦争 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※中間試験は実施しないが、中間試験前に授業内試験を実施する
2学期中間試験は実施しない	
2学期	世界史Bの定期試験対策演習 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内試験を実施する
2学期期末試験は実施しない	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	・授業内考査（定期試験にかわるもの）（履修者全員共通） ・授業ごとの入試問題への取り組み、得点
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

担当者からのアドバイス

同じ問題、同じ項目では2度と間違えない！を心に刻んで、問題演習で歴史を定着させよう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
公民	政治・経済	本科	3	表

到達目標

1. 青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
2. 民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治・経済・国際関係などについて客観的に理解できるようになる。
3. 多角的・多面的なものの見方を身につけるとともに、現代の諸課題について主体的に考察し、公正に判断できる力を養う。

授業の進め方・学習方法

授業を受ける際は、板書事項だけでなく、積極的にメモを取るよう心掛ける。
演習用の問題を解き、講義内容の理解を深める。

授業スケジュール

1学期	第1部 現代日本における政治経済の諸課題 第1編 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原理 第2章 日本国憲法の基本的性格 第3章 日本の政治機構
1学期中間試験	
1学期	第4章 現代日本の政治 第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容 第2章 現在政治のしくみ
1学期期末試験	
2学期	第3章 現代経済と福祉の向上 第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治 第2章 現代の国際経済
2学期中間試験	
2学期	共通テスト対策 ※「公共」の復習を含む
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心に小テストや授業での取り組みを平常点として加味して評価する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
詳述 政治・経済	実教出版	
大学入学共通テストへの道 公共, 政治・経済	山川出版社	
2027共通テスト直前演習 公共, 政治・経済	進研学参	9月配布予定

担当者からのアドバイス

「センター試験」でも必要とされた基本的知識事項を固めること、これが政治経済の学習において一番大切なポイントである。ただ、それに加えて、「暗記のみ」には頼らないようにして欲しい。共通テストでは、単なる知識の確認だけではなく、その運用する能力が求められている。これを身につけるためには、基本的知識事項に対する「深い理解」と政治経済の学習内容を「自分のこととして学ぶ姿勢」が必要である。学習内容に対して、常に疑問を持つ姿勢を忘れず、思考しながら授業に参加してほしい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
公民	倫理	本科	3	村田

到達目標
1. 宗教・思想・哲学・心理学等に関する学習を通じて、人間としての在り方・生き方について理解と思索を深めるとともに、自己を確立し、良識ある公民として必要な能力と態度を養う。 2. 上記の学習を通じて、多面的・多角的なものを見方を身につけるとともに、現代の諸課題について主体的に考察し、公正に判断できる力を養う。 3. 大学入試共通テスト「公共,倫理」において80%以上の得点ができるだけの学力（知識・理解・判断力等）を身につける。

授業の進め方・学習方法
1. 共通テストでの出題頻度が高い基礎的な部分から発展レベルまでを網羅する講義を行い、学習の定着を図る問題演習を実施する。 2. 共通テストの過去問を意識した演習問題等を解き、講義内容への理解を深めるとともに、共通テストの得点率向上を目指す。

授業スケジュール	
1学期	第1編 現代を生きる自己の課題 第2編 人間としての自覚 1学期中間試験
1学期	第3編 現代をかたちづくる倫理 1学期期末試験
2学期	第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚 第5編 現代における諸課題の探究 2学期中間試験
2学期	共通テスト対策 ※「公共」の復習を含む 2学期期末試験
3学期	学年末試験は実施しない

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心に、出席や小テストなど授業での取組状況を平常点として加味して評価を行う。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
高等学校 新倫理	清水書院	
ウィニングコンパス 公共・倫理の整理と演習	東京法令出版	
2027共通テスト直前演習 公共,倫理	進研学参	9月配布予定

担当者からのアドバイス
過去の「センター試験」でも必要とされた基本的知識事項を固めることが、倫理の学習において一番大切なポイントである。しかし、「共通テスト」においては、個々の知識の有無だけでなく知識を運用する能力が求められており、学習にあたっては、単に知識を暗記するだけでなく、深く理解することが必要である。深い理解を身につけるためにも、授業内容に対して疑問を持つ姿勢を忘れず、一緒に考えながら授業に参加してほしい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学III	本科	6	田中・佐藤・隈本

到達目標
大学入試に向けての基礎固めと演習を通じ対応力を養成する。

授業の進め方・学習方法
単元別でなく、テーマ別演習を通し、記述指導と受験の大枠をつかむように指導を進めていく。 予習ベースで進めることで、家庭学習にも効果を期待できるよう、指導を進めていく。

授業スケジュール	
1学期	入試総合演習
1学期中間試験	
1学期	入試総合演習
1学期期末試験	
2学期	入試総合演習
2学期中間試験	
2学期	入試総合演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	朝学習・授業内試験（各クラスごとに実施）
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

担当者からのアドバイス
これまでの単元ごとの学習から、「受験数学の大局をつかむ」演習を続けていきます。 日々見つかる弱点を、日々克服し続けてください。忍耐と積み重ねを地道に続けて得られるものが実力です。 まず、授業を大切にしてください。そして、合格を勝ち取るために、臥薪嘗胆の思いで謙虚に数学と向きあいましょう。 ともに頑張りましょう！

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学ⅠAⅡBC	本科理系	6	山口

到達目標

入試(共通テスト)の出題傾向を読み解き、数学の得点率向上させる。

授業の進め方・学習方法

- ・授業における解説は要点に絞り、計算力・思考力の強化のため演習時間を確保する。
- ・必要な生徒に応じて、論述対策(添削)を実施する。

授業スケジュール

1学期	数ⅠA分野の基本事項＋頻出事項の確認
1学期中間試験	
1学期	数ⅡBC分野の基本事項＋頻出事項の確認
1学期期末試験	
2学期	共通テスト・入試問題演習
2学期中間試験	
2学期	共通テスト・入試問題演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施ない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	一回の試験の範囲が膨大になるため、適宜確認試験を行うようにする。
レポート	20	
小テストなど		
授業での取り組み		

教科書・教材

書名	出版社	備考
プリント		その他の問題は授業内で提示

担当者からのアドバイス

受験に向けて与えられた時間は同じです。その「価値」を高めながら、日々成長するよう心掛けましょう。特に、高3のスタートから「どれだけ自分に厳しく取り組めたか」が「メンタル」を鍛えます。受験に負けないためにも、積極的に挑んでください。一緒に頑張りましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学C	本科文系	2	隈本・田中

到達目標

計算だけでなく、読解と論述を含めて総合的に入試数学に取り組み、共通テストでの高得点を目指す。

授業の進め方・学習方法

予習ベースに単元別に演習に取り組みます。

授業スケジュール

1学期	複素数平面と二次曲線 入試総合演習
1学期中間試験	
1学期	入試総合演習
1学期期末試験	
2学期	入試総合演習
2学期中間試験	
2学期	入試総合演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
授業内プリント		その他の問題は授業内で提示

担当者からのアドバイス

高校数学の学習内容全体を幅広く見ながら、「問いの目的」を見つける練習を続けます。
共通テストは「教科書の知識を用いて解決する」ことを目的にしています。問題を見た瞬間に「テーマはコレだ!」と気づけるよう、読解力を高めるよう日々の授業に向き合ってください。
謙虚に忍耐強く。日々頑張ろう!

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	文系数学演習	本科文系	2	隈本・田中

到達目標
読解と論述に重きを置き、総合的に入試数学に取り組み、2次試験・記述問題に対応できる力をつける。

授業の進め方・学習方法
予習を基本として、単元別に演習に取り組みます。

授業スケジュール	
1学期	入試総合演習
1学期中間試験は実施しない	
1学期	入試総合演習
1学期期末試験	
2学期	入試総合演習
2学期中間試験は実施しない	
2学期	入試総合演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	60	授業内試験・提出課題
レポート	0~40	
小テストなど	0~40	
授業での取り組み	0~40	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
授業内プリント		その他の問題は授業内で提示

担当者からのアドバイス
授業で扱う一問一問に真剣に向き合う中で、それぞれの問題の最適解を見つけ出す力を養っていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学演習	本科理系	2	坂内

到達目標
入試問題で戦える数学力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法
1 学期は講義形式＋問題演習 2 学期は問題演習＋記述指導

授業スケジュール	
1学期	入試問題演習（基本・標準）
1学期中間試験は実施しない	
1学期	入試問題演習（標準）
1学期期末試験	
2学期	入試問題演習（標準・発展）
2学期中間試験は実施しない	
2学期	入試問題演習（発展）
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	60	授業内試験・提出課題
レポート	0～40	
小テストなど	0～40	
授業での取り組み	0～40	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
特になし		プリントを配布して演習

担当者からのアドバイス
"受験に向けて与えられた時間は同じです。その「価値」を高めながら、日々成長するよう心掛けましょう。特に、高3のスタートから「どれだけ自分に厳しく取り組めたか」が「メンタル」を鍛えます。受験に負けられないためにも、積極的に挑んでください。こちら全力で導きます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	物理	本科	6	井上・西郷

到達目標

- ・物理を通して、帰納的・演繹的思考力を身につける。
- ・大学入試の典型問題を自力で解く力を身につけ、志望校（最難関大学も含む）に合格する物理解答力を養う。

授業の進め方・学習方法

- ①板書による講義により、物理理論の重要事項を伝えます。適宜、法則を発見するに至る帰納的思考や演繹的思考について伝えます。
 - ②問題集を用いて物理理論の重要事項を使う練習をすることによって、思考力を養います。単振動や回路問題など、いつも決まったやり方で解けるような問題については、解き進める前に、解法のパターン化を示します。
 - ③演示実験により、物理理論と現実との関わりについて説明します。
- ※ 下記の授業スケジュールは進度によって変更する可能性があります。

授業スケジュール

1学期	第3編 波（総合物理2） 第3章 光 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折
1学期中間試験	
1学期	第4編 電気と磁気 第2章 電流 1. オームの法則 2. 直流回路 3. 半導体
1学期期末試験	
2学期	第4章 電磁誘導と電磁波 1. 電磁誘導の法則 2. 自己誘導と相互誘導 3. 交流の発生 4. 交流回路
2学期中間試験	
2学期	入試問題演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	平常点は、授業態度、課題の提出状況・朝学習の結果などから算出する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
総合物理1・2	数研出版	
リードα物理基礎・物理	数研出版	
物理重要問題集	数研出版	
フォトサイエンス物理図録	数研出版	

担当者からのアドバイス

様々な科学者が、身の回りの科学をいかに表現するか、絵をかいたり、実験をしてみたり、計算してみたり、と試行錯誤して今の科学技術は生まれました。

“物理”では、数学を道具にして自然科学の法則を表したり、その現象をひも解いたりしていきます。一見複雑そうに見える私たちの身の回りにある自然現象がシンプルな数式で表される、その美しさには是非触れてほしいと思います。この過程で、物事を組み立てたり、思考を広げていくことの楽しさを見出すことができたとき、“物理”を超えた様々な分野で活用できる視野が身に着くと思います。

授業の中だけでなく、日ごろから頭の中で考えたアイデアをノートに書き起こしたり、思考の筋道を書き残すことを大切にしてください。一緒に頑張っていきましょう！

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	化学	本科	5	田仲・戸井田・古川

到達目標

化学基礎で学んだ概念をもとにして高校化学で扱う総合的な概念を体系的に理解する。
理論化学分野では日常生活や社会と関連付けて考察する力や概念や法則を活用できる力を養う。
有機化学分野では様々な性質や反応を活用して応用、表現する力を養う。
無機化学分野では基本的な物質の性質や反応の知識を用いて課題を整理し、分析する力を養う。

授業の進め方・学習方法

授業は教科書の内容に沿って進め、大学入試を意識した発展的な内容も扱う。
知識も単なる暗記だけではなく背景や多角的に考えられるよう様々な事例を紹介する。

授業スケジュール

1学期	第5部 高分子化合物 第3部 無機物質 1章 周期表と元素の分類 2章 非金属元素
1学期中間試験	
1学期	第3部 無機物質 3章 典型金属元素 4章 遷移元素
1学期期末試験	
2学期	入試演習
2学期中間試験	
2学期	入試演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を主として、朝テスト・小テスト等の結果も加味する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
高等学校 化学	啓林館	
化学重要問題集	数研出版	

担当者からのアドバイス

大学入試を見据え、化学事象の原理や法則を掘り下げて授業を展開します。
内容が多岐にわたり難しく感じるかもしれませんが、ただの暗記に終わることがないように、一つ一つ丁寧に取り組んでいって下さい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	生物	本科	6	上原

到達目標
 生物基礎で学んだことをもとにして、高校生物で扱う総合的な概念を体系的に理解する。
 東京大学をはじめとする難関国公立大学の個別試験や私大医学部に対応できるだけの生物学の学問的な力をつけることを授業の第一の

授業の進め方・学習方法
 授業は教科書を参考に進め、大学入試や大学での学びへの接続を意識した発展的な内容も扱う。
 単なる知識の暗記にとどまらず、知識をつなぎ合わせて考察し、多角的にとらえられるような事例を紹介する。

授業スケジュール	
1学期	【生物】 第4部 生物の環境応答 第10章 刺激の受容 第11章 動物の行動
1学期中間試験	
1学期	生物基礎の範囲を含めた共通テストの過去問を用いた実践的な問題演習
1学期期末試験	
2学期	国公立大学個別試験の過去問を用いた実践的な問題演習
2学期中間試験	
2学期	難関国公立大学個別試験や私大医学部の過去問を用いた実践的な問題演習
2学期期末試験	
3学期	志望校別対策ゼミ 個別添削指導
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を主として、朝テストの結果や実習レポートも加味する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
高等学校 生物	啓林館	
生物重要問題集	数研出版	
生物 センサー	啓林館	

担当者からのアドバイス
 「理解」を「得点力」へ昇華させる1年となります。東大・医学部入試では、未知の実験を読み解く論理的思考と精緻な記述力が不可欠です。生命の本質を射抜く鋭い考察力を磨き、合格の先にある科学の真理を掴みましょう！

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科基礎演習	本科文系	3	田仲・上原

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストで必要な知識や原理を理解し、考えることができるようにする。 ・点数にこだわり、ミスが出ないように仕上げていく。

授業の進め方・学習方法
<p>「化学基礎」と「生物基礎」をほぼ同程度扱います。 1学期中は各分野を復習していきます。2学期には、共通テスト対策用問題集を用いて演習をしていきます。</p>

授業スケジュール	
1学期	<p>【化学基礎】</p> <p>第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合 第4章 物質と化学反応 第5章 酸と塩基</p>
1学期中間試験（実施しない）	
1学期	<p>【生物基礎】</p> <p>第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とのはたらき 第3章 神経系と内分泌系による調節 第4章 免疫のはたらき 第5章 植生の多様性と分布 第6章 生態系とその保全</p> <p>※上記の【化学基礎】と【地学基礎】の内容を適宜扱っていきます。</p>
1学期期末試験（授業内予定）	
2学期	共通テスト対策演習
2学期中間試験（実施しない）	
2学期	共通テスト対策演習
2学期期末試験（授業内予定）	
3学期	授業なし
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を中心に、授業への取り組みなどを総合的に評価します。
授業での取り組み状況	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
チェック&演習 化学基礎	数研出版	1学期使用教材
チェック&演習 生物基礎	数研出版	1学期使用教材

担当者からのアドバイス
<p>週3時間という限られた時間の中で、効率よく学習していきましょう。出題された問題に対して、ただ答えを覚えるだけでなく、そこから派生して知識を広げていく事につながりや関連を抑えていく事ができます。原理現象を正確に理解していく事が、高得点を取るためのポイントです。共通テストまで一緒に頑張りましょう！</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
英語	英語コミュⅢ	本科	3	榎本・岩本

到達目標
大学入試に対応できる読解力及びリスニング力を身につける。

授業の進め方・学習方法
授業のメインは英語長文問題の演習とその解説だが、文章をより正確に嫁雨量になるための英文解釈やリスニング演習・音読テストも重視していく。

授業スケジュール	
1学期	Cutting Edge Chapter 1 1～1 3 適宜、大学入試対策演習を実施 1学期中間試験
1学期	Cutting Edge Chapter 1 4, 1 5 適宜、大学入試対策演習を実施 1学期期末試験
2学期	Cutting Edge Chapter 1～3 適宜、大学入試対策演習を実施 2学期中間試験
2学期	Cutting Edge Chapter 4, 5 適宜、大学入試対策演習を実施 2学期期末試験
3学期	学年末試験は実施しない

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験 授業内小テスト
小テスト	20	提出物(週末課題・休暇中課題)
授業などの取り組み		から総合的に評価する

教科書・教材		
書名	出版社	備考
ELEMENT English Communication III	啓林館	
ELEMENT English Communication III サブ	啓林館	
ELEMENT English Communication III	啓林館	
Cutting Edge blue	Emile出版	

参考書			
書名	著者	出版社	備考
キクタン		(株)アルク	定期的な小テストを行なう。
Ultimate		啓林館	文法の参考書、適宜使用

担当者からのアドバイス
大学入試に必要な読解力、語彙力だけではなく背景知識や一般教養をも身につけていくためにたくさんの文章を読んでいます。授業での解説や活動だけではなく、自分自身で能動的に学習を進めていきましょう。日々の積み重ねが力になります。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
英語	論理・表現III	本科	2	上田・浜中

到達目標
<p>《大学入試問題演習を通じて入試で活用できる英文法力、英作文力をつける》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択、整序、正誤などの文法問題演習においては、これまで学習した文法、語法、構文の知識を自在に操れるようにすることを目指す。 ・ 英作文においては、文法、語法、構文の知識を駆使するだけでなく、自然な英語表現を使った作文を目指す。

授業の進め方・学習方法
<p>大学入試ランダムチェック The Reflex ① 演習 ② 解説 英作文の添削は適宜行います。</p>

授業スケジュール	
1学期	大学入試ランダムチェック The Reflex Unit 1 ~ Unit 4
1学期中間試験	
1学期	大学入試ランダムチェック The Reflex Unit 5 ~ Unit 8
1学期期末試験	
2学期	大学入試ランダムチェック The Reflex Unit 9 ~ Unit 12
2学期中間試験	
2学期	大学入試ランダムチェック The Reflex Unit 13 ~ Unit 17
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	
レポート		
小テストなど	20	
授業での取り組み		

教科書・教材		
書名	出版社	備考
大学入試ランダムチェック英文法語法の総仕上げ The Reflex	桐原書店	

担当者からのアドバイス
<p>文法・語法問題演習をそれだけのための学習と捉えず、正しく英文を読み、適切な英作文を書くための土台づくりとして丁寧に学んでください。</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
英語	英語演習	本科	3	榎本

到達目標
大学入試問題を中心として演習を行い、解答力を身に付ける。

授業の進め方・学習方法
入試問題演習→解答解説

授業スケジュール	
1学期	大学入試問題
1学期中間試験は実施しない	
1学期	大学入試問題
1学期期末試験は実施しない	
2学期	大学入試問題
2学期中間試験は実施しない	
2学期	大学入試問題
2学期期末試験は実施しない	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
確認テスト	80	授業内で確認テスト（定期試験の代わりに授業内テスト。通例、試験1週間前の授業で行う）、出席状況などを総合的に評価する。
授業での取り組み	20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
オリジナルテキスト		

担当者からのアドバイス
志望校の出題傾向を、過去問演習を通じて把握し、自分の弱点を認識した上で演習を積んでいきましょう。